

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して
自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第12号】

中学「し、ずみ」

■発行/平成26年10月10日(金)

地区芸術祭 合唱部発表

9月26日(木)矢板市の文化会館大ホールで地区学校音楽祭が行われ、本校合唱部は「ファイト」を披露し「優良賞」を受賞しました。

全校生の半数以上が希望した合唱部は、6月にメンバーを決定し活動開始。7月の校内合唱コンクールでは「光が」を披露。夏休みには各部活動を11時15分で終了し11時30分より合唱部を行うなどの新しい取り組みで練習にあたりました。また、運動会練習中も昼休みに合唱、放課後に重唱を練習して本番に臨みました。

惜しくも県出場の夢は叶いませんでした。しかし、岡田先生の専門性を生かした指導、自主的に勤務対応を変更して指導にあられた植木先生の情熱、そして吉成部長を中心とした部員のがんばりでたいへん美しいハーモニーを披露できたことは、生徒たちにとって貴重な経験となりました。

保護者の皆様のこれまでの御協力、たいへんありがとうございました。

◆合唱の部 「ファイト」 優良賞



<メンバー>

吉成加奈、阿美真衣、薄井美香、片山順平、加藤 光、金子結花、佐々木祐佳、鈴木菜那、鈴木 京
高瀬立真、田代恭規、津久井俊貴、豊田健太、増形由衣、森戸聖実、山崎くるみ、吉沢舞花
渡邊琢巳、伊東拓真、片山怜奈、小平ニコル、小林 心、笹沼智也、佐藤璃和、高野明咲美
竹田綾介、船山惇大、細川凜子、室井望亜、矢板優実、小宅ひなた、細川瞳子、松平隆宣
村上和寿、村山夏美、鏑木亜海、菊地修平、福田紗名、福田七海、細川奈菜
(伴奏)渡邊千尋

◆重唱の部



「Let's Serch For Tomorrow」 優良賞

阿美真衣、薄井美香、鈴木菜那
高瀬立真、津久井俊貴、吉成加奈
(伴奏)増形由衣



「光が」 優良賞

加藤 光、金子結花、鈴木 京
片山順平、豊田健太、森戸聖実
渡邊琢巳、渡邊千尋

45分授業の理解を深めるために

今日で第1学期が終了します。去る10月5日(日)には今年第2回目の奉仕作業を行っていただくなど、今年度も本校教育活動に御協力をいただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、生徒に還元できる多くの活動が実施できています。本校で実施している45分授業も生徒の多様な活動時間を確保するためのものでもあり、泉中の現状をたいへんありがたく思います。

その45分授業ですが、導入して間もなく2年が経過します。その趣旨を再確認するにはよい時期と考え、2年前の学校だよりに掲載した記事のエッセンスを再掲載することにしました。

本校の現在の取り組みの趣旨を御理解いただくとともに、第2学期から「試行」を始める学力向上に向けたさらなる取り組み(次号以降の学校だよりに掲載予定)に御協力いただければ幸いです。

◆Q1 どんな時間割になりますか。

A1 以下のとおりとなります。

<これまで>						<第2学期>					
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	○	○	○	○	○	1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○	3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○	4	○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	5	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	6	○	○	●	○	○
						7	●	○	○	○	○

これにより週3コマ(●の部分)増えることとなります。

◆Q2 「45分授業」にするねらいは何ですか。

A2 ねらいは大きく3つあります。

▼ねらい1…授業のコマ数を確保し、知・徳・体の1ランクアップを目指し泉ブランドの確立に努める

文部科学省示す学習指導要領では、実施しなければならない授業時数の目安として標準時数が定められています。また、今年から完全実施している新学習指導要領では、前回の改訂で減らされた内容等が復活するなどして内容が豊富になっています。これらを受け、各学校では行事の精選などを行い授業時数の確保のための事情努力をしています。

本校はこれまで他校と同じように1単位時間を50分の29コマで実施してきました。しかし、行事の削減は、生徒に豊かな心を育成する点から望ましいものではありません。また、2年生の数学が3コマであるなど、不安な点もみられます。本校では、これらの課題を月曜日の6校時に実力アップタイムを新設することで対応してきました。

しかしこれは、帰りの会等の終了時刻が月曜日は16:30、火・木・金は16:10となり、放課後の諸活動時間等の確保が難しい状況でした。

一方、平成15年度から、1単位時間は各学校において各教科等の年間授業時数を確保しつつ、どの程度が最も指導の効果をあげ得るかという観点から決定することが可能となっています。

これらを踏まえ、1クラス最大で30名(少ないクラスで20名)という本校の現状を考え、第2学期から1コマ「45分授業」を導入し、生み出した時間で週3コマの授業増を図り行事を減らすことなく教科等の学力向上を目指すとともに、Q4にあるように帰りの時刻の終了時刻を早め放課後活動の充実を目指すなどの改善を図り、知・徳・体の向上を目指します。

▼ねらい2…指導の改善&見直しを図り、教師の意識改革を図る。

▼ねらい3…学習の定着を図り、学力向上をめざす。

これまでの1コマ50分授業を内容と落とせずに45分間で行うのが「45分授業」です。少人数の本校ですので、的確な発問・明確な指示等の指導を行うことで「45分授業」でも十分ねらいを達成できます。こうして「45分授業」を実施し、例えば、これまで50分×9コマで行っていた450分の学習の枠組みを45分×10コマで計画し直し、増えた1コマ分を定着テストなどのスキルアップ学習の時間として活用するなどして、学習の定着を図ります。もちろん、総時間も増えます。

◆Q3 増えた3コマ分は何に使うのですか。

A3 基本的に、国・数・英に使います。

これにより、各学年右のようなコマ数となります。

	国語		数学		英語	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
1年	4	5	4	5	4	5
2年			3	4		
3年	3	4	4	5		

◆Q4 7時間授業にすると、給食時間や下校時刻が遅くなるのではないですか。

A4 7時間授業の日は清掃なしにすることで以下ようになります。これで、放課後の活動時間を確保します。

<H24年度 第1学期の6時間>

項目	時刻
登校	8:10
1校時開始	8:40
給食開始	12:35
5校時終了	14:35
6校時終了	15:35
帰りの会終了	16:10

<H26年度 7時間の場合>

項目	時刻
登校	8:05
1校時開始	8:35
給食開始	12:10
5校時終了	14:05
6校時終了	15:00
7校時終了	15:55
帰りの会終了	16:10

*6時間授業の日は、帰りの会終了15:15
課外活動開始15:40となります。

道徳・人権コーナー No.6

これまでに、学校での道徳の指導には2種類あること述べてきました。まとめると以下のようになります。

道徳の指導＝①「道徳的実践」の指導＋②「道徳の時間」の指導

→行動化を求めるもの

→内面的資質を養うもの

今回はこの2つの道徳の指導の関係について述べます。

結論を先に言えば、「道徳の時間」の指導が「道徳的実践」の指導の要となるということです。

もう少し細かく言うと、「道徳の時間」が「道徳的実践」を「補充・深化・統合」する役目を果たします。この「補充・深化・統合」は道徳教育を理解する上でとても大切な言葉であり、来年の4月から特別の教科化になるにあたって、これまで以上にキーワードとなっています。

ことばで説明すると以下のようになります。

補充とは、道徳的な押さえが不十分なところを補うこと。

深化とは、主体的な自覚にまで深めること

＝なるほど大切なことだと心の底から承知させること。

統合とは、学習内容・諸価値を関連付けたり構造化したりすること。

また、図にすると右のような感じになります。

